

# 15 環境配慮実績(1/1)

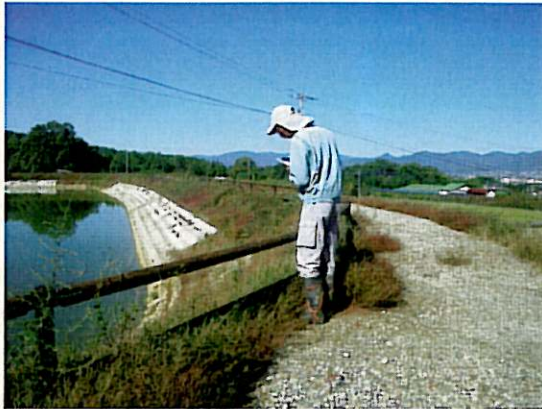
様式1

|      |              |     |      |      |      |
|------|--------------|-----|------|------|------|
| 事業名  | H21ため池等整備事業  | 地区名 | 壇池   | 市町村  | 吉野川市 |
| 事務所名 | 東部農林水産局〈吉野川〉 | 課名  | 耕地担当 | 採択年度 | H16  |

## 環境配慮の内容：④軽減/消失

モニタリング調査結果で、工事後に移植した希少植物（コカモメヅル）が消滅したため、栽培保全していた個体を、環境配慮護岸部に再移植する。

○平成21年11月4日、植物モニタリング調査を行った。



〈植物モニタリング調査の状況〉



※ツルマメとの競合により消滅したと考えられるコカモメヅル移植場所（平成19年6月5日移植）

○平成21年11月24日、植物専門家の指導により、環境配慮護岸部にコカモメヅル約12個体を再移植した。



〈コカモメヅル再移植の状況〉  
環境配慮護岸部に、約12個体を再移植した。



※ 植物専門家の指導により、コカモメヅル再移植を行った。

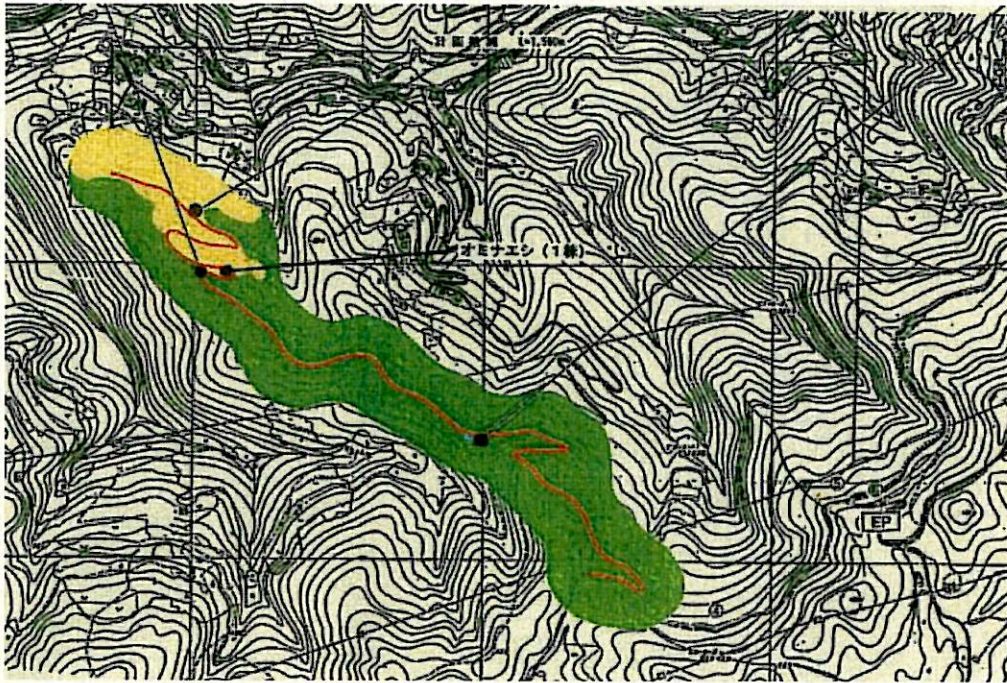


|      |             |     |      |      |     |
|------|-------------|-----|------|------|-----|
| 事業名  | 中山間地域総合整備事業 | 地区名 | 池田南部 | 市町村  | 三好市 |
| 事業所名 | 西部総合県民局(三好) | 課名  | 耕地担当 | 採択年度 | H16 |

環境配慮の内容：②最小化

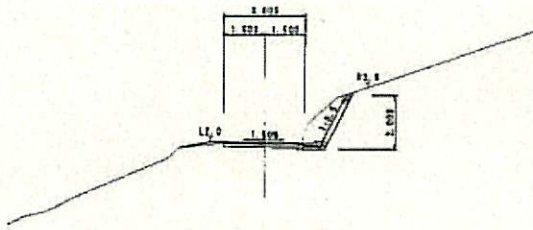
アカガエル等の徘徊性動物が落下しないもしくは這い上がれるガッタ一構造の側溝で施工を行った。

<全体平面図>



<標準断面図>

<配慮対策完了後 写真>





|      |             |     |      |      |     |
|------|-------------|-----|------|------|-----|
| 事業名  | 経営体育成基盤整備事業 | 地区名 | 今津南部 | 市町村  | 阿南市 |
| 事業所名 | 南部総合県民局<阿南> | 課名  | 耕地担当 | 採択年度 | H17 |

環境配慮の内容：⑤代償

平成21年度の工事施工区域に重要な種であるミズタカモジの生育が確認されたため、生育箇所の畦の土ごと剥ぎ取り、この土をほ場整備工事後の畦に戻した。

ミズタカモジ生育箇所の畦の土を剥ぎ取り、他の土と区別し一時保管。

<畦土剥ぎ取り  
状況>



保管していた土を水路沿いの田畦に利用した。

<田畦築立状況>





|      |              |     |      |      |      |
|------|--------------|-----|------|------|------|
| 事業名  | H21ため池等整備事業  | 地区名 | 寺谷池  | 市町村  | 吉野川市 |
| 事務所名 | 東部農林水産局<吉野川> | 課名  | 耕地担当 | 採択年度 | H17  |

環境配慮の内容：②最小化④軽減/消失

堤体上流側法面に自然型凝石ブロック張を実施した。

また、工事期間中の水生生物の避難場所とするため、池内の浅瀬に水たまりを創設した。

○平成21年10月17日に魚介類モニタリング調査を実施した。



〈魚介類モニタリング調査の状況〉

○魚介類モニタリング調査結果の概要

- ・ 現地調査の結果、3目3科5種の魚類が確認されたまた、2目5科5種の貝類・甲殻類が確認された。
- ・ 魚類は、生活史の全てを淡水域のみで過ごす純淡水魚であり、コイ(ニシキゴイ)、フナ属、ヌマムツ、メダカ、カワヨシノボリなどであった。
- ・ 貝類・甲殻類はカワニナ、ミナミヌマエビ、スジエビ、アメリカザリガニ、サワガニの5種が確認された。これらはすべて生活史の全てを淡水域で過ごすものであった。

○魚類専門家の意見(徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス研究部

エコシステムデザイン部門 特任助教 田代優秋氏)

- ・ 工事の際の配慮として、一時的に小規模な水溜まりを設けて避難場所を作ってやる場合、流入口付近に土手を作り、水深50cm以上~100cm程度としてやる。これは、サギなどの鳥類が魚介類を捉まえらるる限界の水深が50cm程度であるからである。
- ・ 観賞用のニシキゴイを多く入れると、池内の生態が壊れるため好ましくない。出来れば、同じ流域下流部の在来種を入れてやると良い。



|      |             |     |      |      |       |
|------|-------------|-----|------|------|-------|
| 事業名  | 中山間地域総合整備事業 | 地区名 | 三好地区 | 市町村  | 東みよし町 |
| 事業所名 | 西部総合県民局(三好) | 課名  | 耕地担当 | 採択年度 | H17   |

環境配慮の内容：①回避

平成21年度増川排水路改修工事において、希少植物を回避して施工した。

①回避

<工事着手前にユキモチソウ生育区域を囲って影響が無いよう回避した>





|      |              |     |      |      |      |
|------|--------------|-----|------|------|------|
| 事業名  | ため池等整備事業     | 地区名 | 一の坪  | 市町村  | 吉野川市 |
| 事務所名 | 東部農林水産局<吉野川> | 課名  | 耕地担当 | 採択年度 | H19  |

### 環境配慮の内容：②最小化

希少植物（ホッスモ）については工事による個体への影響を少なくするため、冬期に工事を行う。また、工事範囲以外は立ち入らない。

#### ○請負業者・作業員への配慮対策の現場説明状況

工事名：H21 吉耕 ため池 一の坪 取水施設工事

工事工期：平成21年11月14日～平成22年3月10日

説明内容：工事範囲以外への立ち入りはしないように指示している。



※現場説明状況写真

○配慮対象植物（ホッスモ）の生育状況は、ため池整備工事完了後に確認する予定。



※工事範囲以外は立ち入らない。



|      |              |     |      |      |      |
|------|--------------|-----|------|------|------|
| 事業名  | ため池等整備事業     | 地区名 | 一の坪  | 市町村  | 吉野川市 |
| 事務所名 | 東部農林水産局<吉野川> | 課名  | 耕地担当 | 採択年度 | H19  |

環境配慮の内容：④軽減/消失

希少植物（コカモメヅル）は、工事中一時避難し、工事後に戻す。また、種子を採取し、播種、栽培し、工事後付近に移植する。

○工事に影響のない場所への一時避難状況



・コカモメヅル生育場所からの掘取り状況

・2箇所でコカモメヅルを確認した。

・木下覚氏の確認により、種子の採取を行った。



・工事に影響のない類似環境への一時移植状況



・2箇所で確認したコカモメヅルの種子を採取し、播種、栽培する。

○配慮対象植物（コカモメヅル）の種子を播種、栽培し、成体となったものの移植は、ため池整備工事完了後に実施する予定。



|      |             |     |      |      |     |
|------|-------------|-----|------|------|-----|
| 事業名  | 経営体育成基盤整備事業 | 地区名 | 段関   | 市町村  | 鳴門市 |
| 事務所名 | 東部農林水産局<徳島> | 課名  | 整備担当 | 採択年度 | H19 |

環境配慮の内容：②最小化④軽減/消失

希少魚類の生息環境に配慮して片側を勾配のある（1：1.5）環境型ブロック護岸とし残り2面はL型柵渠とし底版中央部はコンクリートを打設しない排水路構造とした。また、耕作者の理解が得られたレンコン田には魚道を設置予定。

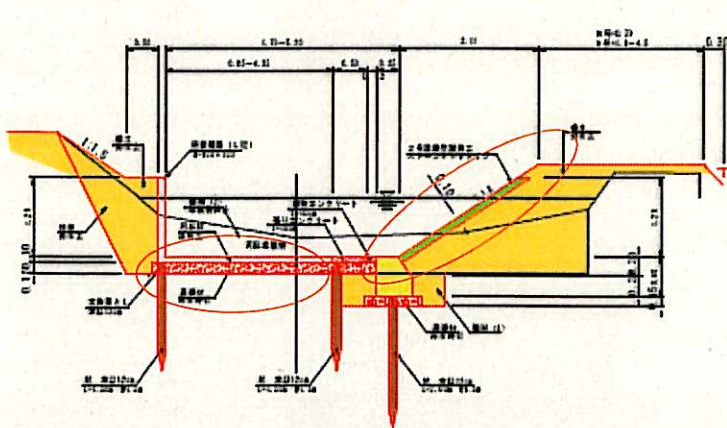
希少植物（コギシギシ・オオアブノメ等）は、生育土壌を工事後の盛土に使用したり、環境型ブロックの覆土使用する予定。

②最小化

（カワバタモロコ等の生息に配慮し環境型ブロック護岸・L型柵渠を施工。）

④軽減/消失

（畦畔及び管理道の盛土材に希少植物の生育土壌を利用し従来の植物が再生できるように配慮。）



（標準断面図）

○枠の箇所へ在来土にて覆土や埋戻。

（写真）

現在施工中のため、底版の埋戻及び通水未了





|      |             |     |      |      |     |
|------|-------------|-----|------|------|-----|
| 事業名  | 経営体育成基盤整備事業 | 地区名 | 段関   | 市町村  | 鳴門市 |
| 事務所名 | 東部農林水産局<徳島> | 課名  | 整備担当 | 採択年度 | H19 |

<魚類に配慮した魚巣箱の設置状況>  
従来の軽量柵渠裏側へ魚巣箱を設置。

(水路内側開口部) →  
市販品を現場で加工し  
開口部を設置。



(巣箱内側) →  
専門家の助言を頂き巣箱の中に植物の生育の  
ための土を入れた。



←畦畔部表土の確保  
覆土、盛土及び埋戻用の在来土とヘドロとの  
分別状況

<専門家による中間モニタリング調査>

事業採択(2004)以後、モニタリング調査をしていなかったため、周辺環境  
の変化による希少種等魚類の個体数を調査。

結果：希少種は捕獲できなかった。

<工事施工時のモニタリング調査(工事締切時)の状況>



←専門家による希少種の生息確認状況  
残念ながら捕獲できなかったが、施  
工業者も参加し環境学習にもなった。

魚類捕獲のための定置網設置状況→  
水替え用の水中ポンプ上流に定置網の  
設置。





|      |             |     |      |      |     |
|------|-------------|-----|------|------|-----|
| 事業名  | 河川応急対策事業    | 地区名 | 長田堰  | 市町村  | 徳島市 |
| 事業所名 | 東部農林水産局〈徳島〉 | 課名  | 防災担当 | 採択年度 | H20 |

環境配慮の内容：②最小化④軽減/消失

護岸工事において、希少植物や在来水生動物の生息環境に工事の影響が出ないように保全した。

②最小化

下流に存在する希少植物の湿地環境を保つため用水路の通水を確保した。



④軽減/消失

シルトフェンスの施行により汚濁を防止し在来水生動物生育環境に配慮した。



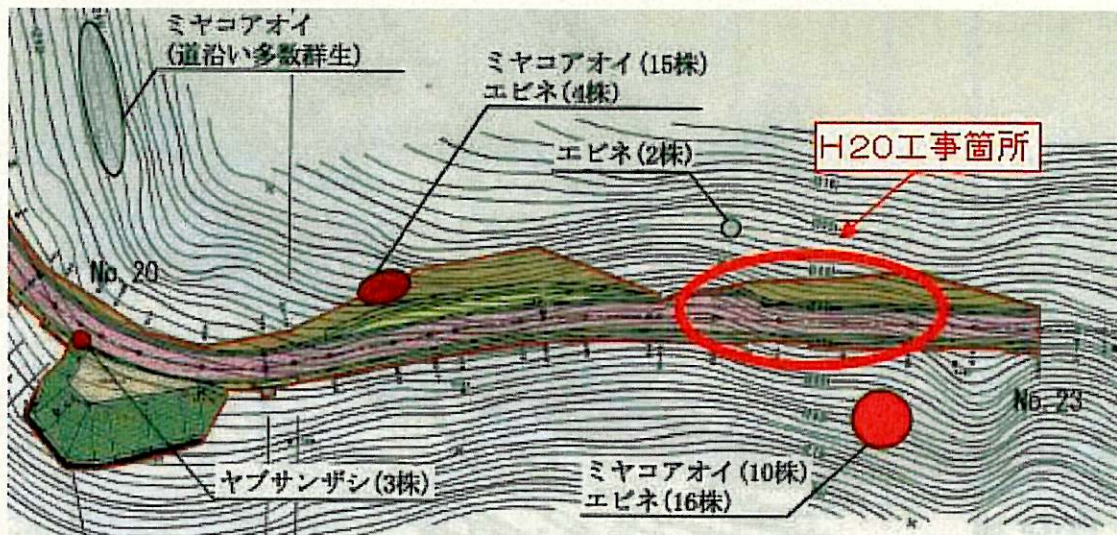


|      |             |     |        |      |     |
|------|-------------|-----|--------|------|-----|
| 事業名  | 基幹農道整備事業    | 地区名 | 池田3期地区 | 市町村  | 三好市 |
| 事業所名 | 西部総合県民局(三好) | 課名  | 耕地担当   | 採択年度 | H20 |

### 環境配慮の内容：回避

平成20年度農道工事において、希少植物を回避して施工した。

工事区域外にミヤコアオイとエビネがあったが、工事による影響は無いとみられたため、現場作業員に踏みつけや不必要な伐採はしないよう指示した。



**エビネ (ラン科)**  
 ・徳島県RDB (絶滅危惧Ⅱ類)  
 ・阿波県RDB (絶滅危惧Ⅱ類)  
 (選定理由)  
 ・県内の分布は広く、個体数も少なくはないが、園芸用に採取され、個体数が減少している。  
 (形態)  
 ・雑木林の林床に生育する自生のラン。  
 ・葉は長さ約20cm、幅約10cmの楕円形。  
 (花期)  
 ・4～5月。  
 ・花茎は高さ20～40cm。  
 ・ややまばらに8～15花をつける花被片は暗褐色。  
 (確認状況)  
 ・事業予定区域内外に多数生育。



**ミヤコアオイ (ウマノスズクサ科)**  
 ・徳島県RDB (絶滅危惧Ⅱ類)  
 (選定理由)  
 ・県内ではかなり生育しているが、開発や運移等により個体数は減少している。  
 (形態)  
 ・低山の樹林や谷筋などのやや湿った場所に生育。  
 ・草丈は10～12cm程、茎はわずかに地表から出る。  
 ・葉は長さ約10cm、幅約8cmの楕円形、ハート形に切れ込む。表面は濃緑色で白い筋や斑模様がある。  
 (花期)  
 ・12～5月。  
 ・葉柄脇に直径約2.5cmの紫褐色の花を1.2個つける。  
 ・花弁はない、種子は3～6月頃熟す。  
 (確認状況)  
 ・事業予定区域内外に多数生育。